

2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社 タチエス

上場取引所 東

コード番号 7239 URL <http://www.tachi-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 雄一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 小松 篤司

TEL 042-546-8117

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

2021年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	95,424	19.9	5,664	—	4,638	—	4,703	—
2021年3月期第2四半期	79,587	45.0	9,531	—	11,026	—	13,052	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,403百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 14,315百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	137.43	—
2021年3月期第2四半期	381.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	148,021	76,431	47.6
2021年3月期	150,994	78,670	48.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 70,480百万円 2021年3月期 72,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	6.50	6.50
2022年3月期	—	31.80	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	31.80	63.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	216,000	8.8	2,100	—	500	—	400	—	11.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	35,242,846 株	2021年3月期	35,242,846 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期2Q	1,020,332 株	2021年3月期	1,021,032 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	34,222,043 株	2021年3月期2Q	34,198,002 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるものの、ワクチン接種の促進、各種政策の効果、海外経済の改善により、景気の持ち直しの動きが続いております。海外におきましては、アジアでは感染再拡大及びそれに伴う経済活動の抑制措置等により景況感が低下しているものの、中国経済は引き続き緩やかな回復が見られ、ワクチン接種が進展する欧米では、感染拡大防止と経済活動の両立に向けた動きが見られ、景気は着実に持ち直しております。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、コロナ禍からの回復基調にあったものの、世界的な半導体不足や、東南アジアでの新型コロナウイルス感染再拡大による部品供給不足の影響を受け、自動車メーカー各社が生産調整を余儀なくされております。

このような経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は954億2千4百万円と前年同期比19.9%増となり、これに伴い営業損失は56億6千4百万円（前年同期は営業損失95億3千1百万円）、経常損失は46億3千8百万円（前年同期は経常損失110億2千6百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は47億3百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失130億5千2百万円）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等の適用により、売上高は109億5千8百万円減少しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日 本

売上高は345億7千2百万円（前年同期比1.5%減）、営業損失は22億6千9百万円（前年同期は営業損失40億6千5百万円）となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は109億5千8百万円減少しております。

②北 米

売上高は187億1千8百万円（前年同期比33.8%増）、営業損失は18億7千7百万円（前年同期は営業損失10億7千8百万円）となりました。

③中 南 米

売上高は237億円（前年同期比49.2%増）、営業損失は18億5千3百万円（前年同期は営業損失34億4千7百万円）となりました。

④欧 州

売上高は4億1千6百万円（前年同期は2千5百万円）、営業損失は1億7千8百万円（前年同期は営業損失1億5千2百万円）となりました。

⑤中 国

売上高は169億9千6百万円（前年同期比19.3%増）、営業利益は8億8百万円（前年同期は営業損失4億8千3百万円）となりました。

⑥東南アジア

売上高は10億2千万円（前年同期比186.6%増）、営業損失は1億3千5百万円（前年同期は営業損失4億6千4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、1,480億2千1百万円と前連結会計年度末に比べ29億7千2百万円減少しております。これは主に、受取手形及び売掛金が90億8千1百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、715億9千万円と前連結会計年度末に比べ7億3千3百万円減少しております。これは主に、支払手形及び買掛金が28億7千3百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、764億3千1百万円と前連結会計年度末に比べ22億3千8百万円減少しております。これは主に、利益剰余金が49億2千6百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績動向及び足元の環境を踏まえ、前回発表時の予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,757	28,326
受取手形及び売掛金	39,327	30,245
有価証券	-	342
商品及び製品	2,110	2,263
仕掛品	731	834
原材料及び貯蔵品	9,839	12,974
その他	5,235	5,361
貸倒引当金	△789	△26
流動資産合計	86,213	80,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,492	11,430
機械装置及び運搬具(純額)	11,571	11,215
その他(純額)	14,148	14,768
有形固定資産合計	37,212	37,414
無形固定資産		
のれん	32	27
その他	1,335	1,306
無形固定資産合計	1,368	1,333
投資その他の資産		
投資有価証券	13,711	14,382
その他	12,566	14,654
貸倒引当金	△78	△86
投資その他の資産合計	26,200	28,950
固定資産合計	64,780	67,699
資産合計	150,994	148,021

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,277	29,403
短期借入金	9,819	10,374
未払法人税等	447	474
その他	12,698	15,188
流動負債合計	55,243	55,440
固定負債		
長期借入金	8,500	8,000
役員退職慰労引当金	8	9
株式給付引当金	103	146
退職給付に係る負債	1,464	1,627
その他	7,003	6,365
固定負債合計	17,080	16,150
負債合計	72,324	71,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,040	9,040
資本剰余金	8,700	8,700
利益剰余金	50,664	45,737
自己株式	△1,451	△1,449
株主資本合計	66,954	62,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,967	2,296
為替換算調整勘定	3,396	5,926
退職給付に係る調整累計額	220	228
その他の包括利益累計額合計	5,584	8,452
非支配株主持分	6,131	5,950
純資産合計	78,670	76,431
負債純資産合計	150,994	148,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	79,587	95,424
売上原価	80,053	92,739
売上総利益又は売上総損失(△)	△466	2,685
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	3,119	3,014
発送運賃	713	962
その他	5,232	4,372
販売費及び一般管理費合計	9,064	8,349
営業損失(△)	△9,531	△5,664
営業外収益		
受取利息	146	151
受取配当金	110	110
持分法による投資利益	131	854
雑収入	538	209
営業外収益合計	926	1,326
営業外費用		
支払利息	106	125
為替差損	2,049	36
雑支出	267	138
営業外費用合計	2,422	300
経常損失(△)	△11,026	△4,638
特別利益		
固定資産売却益	0	53
特別利益合計	0	53
特別損失		
固定資産処分損	34	39
投資有価証券評価損	7	-
関係会社出資金評価損	120	-
特別退職金	2,158	147
特別損失合計	2,320	186
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,346	△4,771
法人税、住民税及び事業税	380	801
法人税等調整額	△691	△1,018
法人税等合計	△311	△217
四半期純損失(△)	△13,035	△4,554
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	148
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,052	△4,703

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△13,035	△4,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	329
為替換算調整勘定	△1,013	2,378
退職給付に係る調整額	△91	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△281	434
その他の包括利益合計	△1,280	3,150
四半期包括利益	△14,315	△1,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,175	△1,835
非支配株主に係る四半期包括利益	△140	431

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△13,346	△4,771
減価償却費	3,274	2,765
のれん償却額	5	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	996	△770
受取利息及び受取配当金	△257	△262
支払利息	106	125
持分法による投資損益 (△は益)	△131	△854
固定資産処分損益 (△は益)	33	△14
投資有価証券評価損益 (△は益)	7	-
売上債権の増減額 (△は増加)	11,319	10,816
棚卸資産の増減額 (△は増加)	295	△2,820
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,373	△4,288
その他	1,599	1,523
小計	△3,470	1,455
利息及び配当金の受取額	239	305
利息の支払額	△68	△128
法人税等の支払額	△538	△804
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,837	827
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,026	△650
定期預金の払戻による収入	37	139
有形固定資産の取得による支出	△2,925	△1,827
有形固定資産の売却による収入	3	81
投資有価証券の取得による支出	△20	△51
その他	△635	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,566	△2,299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,841	△651
長期借入金の返済による支出	△500	△500
自己株式の増減額 (△は増加)	6	1
自己株式の取得による支出	△0	-
非支配株主への配当金の支払額	-	△612
配当金の支払額	△447	△223
その他	△472	△468
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,427	△2,455
現金及び現金同等物に係る換算差額	969	1,968
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,006	△1,958
現金及び現金同等物の期首残高	29,929	27,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,923	25,238

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識基準等の適用による主な変更点は次のとおりです。

当社グループは、得意先から仕入れた部品及び原材料(以下「有償支給品」という。)に対し、加工を行ったうえで仕入価格に加工費等を上乗せした製品を当該得意先に対して販売する取引(以下「有償支給取引」という。)を行っております。収益認識会計基準等の適用により、有償支給元が実質的に有償支給品を買い戻す義務を負っている場合には、有償支給取引に係る「売上高」と「売上原価」について総額表示ではなく、当該取引の加工費等を「売上高」で純額表示しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。なお、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の期首の利益剰余金に累積的影響額はありません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は109億5千8百万円、売上原価は109億5千8百万円それぞれ減少しております。

また、収益認識会計基準等の適用により、有償支給品並びに製品に含む有償支給品の棚卸高を「原材料及び貯蔵品」並びに「商品及び製品」として表示せず、流動資産の「その他」として表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日 本	北 米	中 南 米	欧 州	中 国	東 南 アジア	計		
売上高									
外部顧客 への売上高	35,082	13,990	15,889	25	14,242	356	79,587	—	79,587
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	895	134	1,559	212	2,173	363	5,339	△5,339	—
計	35,978	14,125	17,449	238	16,416	719	84,926	△5,339	79,587
セグメント損失 (△)	△4,065	△1,078	△3,447	△152	△483	△464	△9,692	161	△9,531

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日 本	北 米	中 南 米	欧 州	中 国	東 南 アジア	計		
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	34,572	18,718	23,700	416	16,996	1,020	95,424	—	95,424
外部顧客 への売上高	34,572	18,718	23,700	416	16,996	1,020	95,424	—	95,424
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,983	272	2,348	315	4,164	499	9,583	△9,583	—
計	36,555	18,990	26,048	732	21,161	1,519	105,008	△9,583	95,424
セグメント利益又 は損失(△)	△2,269	△1,877	△1,853	△178	808	△135	△5,505	△158	△5,664

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。